

2013年11月26日(火)
株式会社リクルートライフスタイル
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD

2013年年末年始ツアー問合せ概況

**最大9連休で前年比111%と好調、予約行動も早まる。
旅先は遠距離、および台北とバンコクが人気上昇。
出国ラッシュは12月26日から始まり、28日にピークを迎える。**

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2013年年末年始期間の海外旅行マーケットを考察いたしました。

<結果要約>

1、2. 年末年始ツアー問合せ数(前年比)、問い合わせ時期・・・P2

→全国計で前年比111%と好調。主要出発地別では東京発114%、大阪発107%。
→前年と比べて、9月以前の問い合わせのシェアが高く、予約行動は早まる結果に。

3. 年末年始の人気旅行先・・・P3

→ハワイ、ビーチリゾートを除くすべてのエリアで前年比UP。
問い合わせシェア1位はオアフ島、2位の台北、4位のバンコクがランクアップ。

4. 年末年始ツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P4

→7日以上のシェアが上昇し、全体的に長期化傾向。
→12月26日ごろから徐々に出国が始まり、28日に出国ピークを迎えそう。

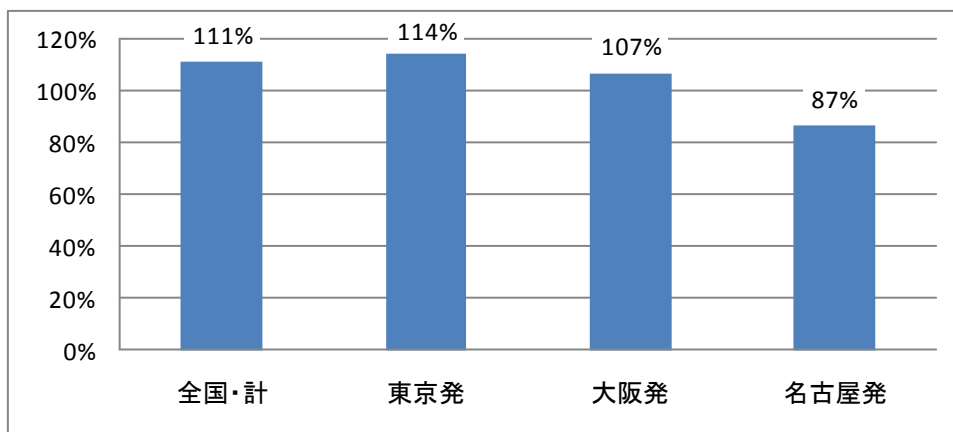
【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

1. 年末年始ツアー問合せ数

2013年の年末年始期間(2013年12月21日～2014年1月5日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)の新規問合せ数(2013年7月1日～11月10日までの問合せを集計)は、前年比(昨年の年末年始期間)で全国計が111%と好調。主要出発地別では東京発が114%、大阪も107%と前年を上回った。一方、名古屋は87%と伸び悩んだ。(データ1)。

■データ1： 2013年 年末年始期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年問合せ実績を100%としたときの、2013年の問合せ実績を%で表示。東京発は成田発・羽田発の合計。大阪発は関空発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。

※2 年末年始期間の定義は、

今年(2013年) 2013年12月21日(土)～2014年1月5日(日)

前年(2012年) 2012年12月22日(土)～2013年1月6日(日)

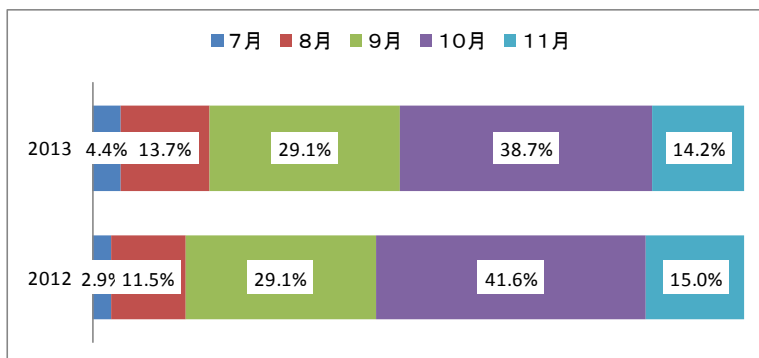
のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の7月1日～11月10日までに発生した問合せを集計。

※3 問い合わせの定義: AB-ROAD カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値。

2. 年末年始ツアーの問い合わせ時期

問い合わせ時期(7月1日～11月10日)のシェアをみると、「10月」が最も高く38.7%。次いで「9月」が29.1%。前年と比べると、2012年は「10月」のシェアが41.6%と高かったのに対し、2013年は全体的に9月以前の問い合わせの割合が高くなっており、前年に比べて動きが早まったと言えそうだ(データ2)。

■データ2： 2013年 年末年始ツアーの問い合わせ時期

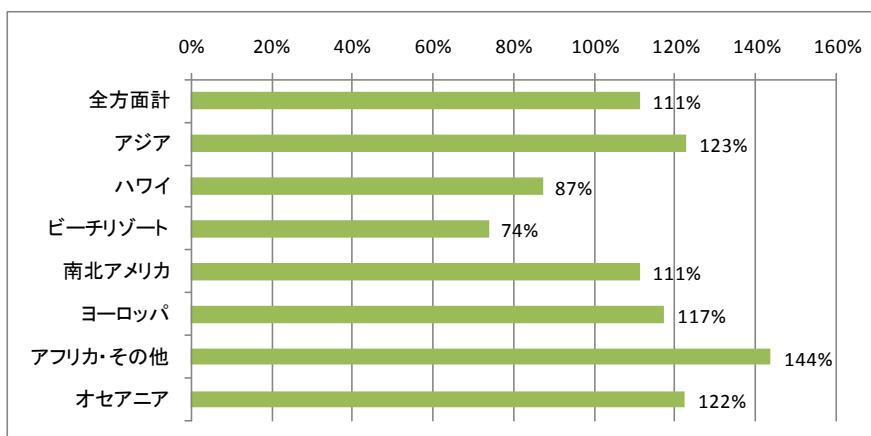


3. 年末年始ツアーの人気旅行先

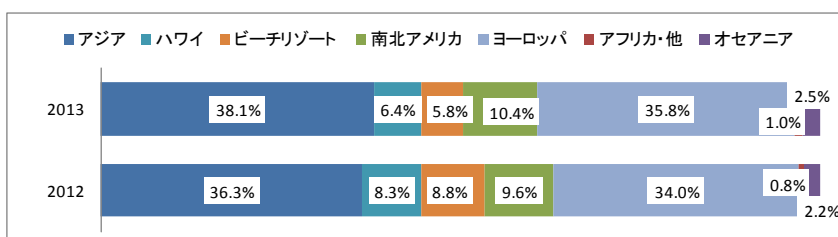
方面別に前年比をみてみると、「ハワイ」「ビーチリゾート」を除くエリアすべてで前年よりアップ。「ヨーロッパ」「アジア」「オセアニア」など遠距離方面も好調だ(データ3)。シェアで比較しても、「ハワイ」「ビーチリゾート」が減少し、「アジア」や「ヨーロッパ」が伸びている(データ4)。

旅行先の詳細シェアランキングでは、前年に引き続き「オアフ島(ハワイ)」が1位。ただし割合は減少し、2位は前年4位から台北が上昇。3位は昨年同様「パリ」が入った。4位の「バンコク」も好調で前年の7位からランクアップ。「ローマ」は 10 位から8位へ。一方「グアム」は2位から6位、「ソウル」は数値を落として6位から7位へ。(データ5)。

■データ3: 年末年始期間中の問い合わせ_エリア別前年比



■データ4: 年末年始期間の問合せ_旅行先シェア_エリア分類別



■データ5: 年末年始期間の問合せ_旅行先シェア TOP10 /参考;2012 年

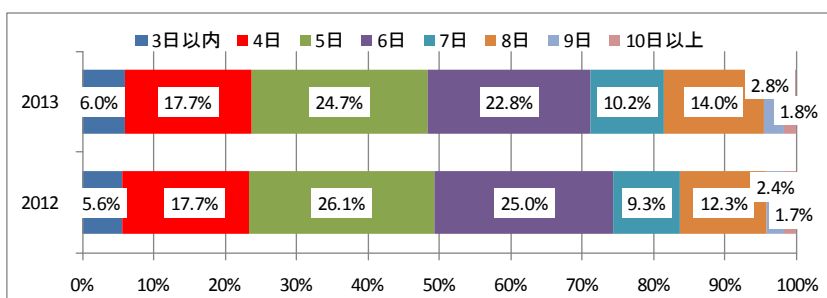
順位	2013年問い合わせ旅行先	シェア	順位	2012年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	5.8%	1	オアフ島	7.6%
2	台北	5.0%	2	グアム	5.7%
3	パリ	4.3%	3	パリ	3.9%
4	バンコク	3.4%	4	台北	3.5%
5	バリ島(インドネシア)	3.1%	5	バリ島(インドネシア)	3.2%
6	グアム	2.9%	6	ソウル	3.0%
7	ソウル	2.7%	7	バンコク	2.7%
8	ローマ	2.5%	8	バルセロナ	2.5%
9	バルセロナ	2.3%	9	セブ島(フィリピン)	2.4%
	セブ島(フィリピン)	2.3%		10	ローマ
				シンガポール	2.2%

※3 データ抽出の定義はデータ1※2と同様(以下同様)。 ※4 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング。

4. 年末年始ツアーの日程、希望する出発日・帰国日

ツアー日数に関しては、「5日」「6日」で全体の5割弱を占める。前年までのシェアと比較すると、「7日」「10日以上」が上昇し、全体的に長期化傾向(データ6)。平均旅行日数は5.8日(データ7)。出発希望日は12月26日から30日にかけてボリュームゾーンで、28日がピーク。帰国日は1月2日から6日にかけてのシェアが高く、出発・帰国いずれも昨年よりも1~2日前倒しの傾向(データ8)。

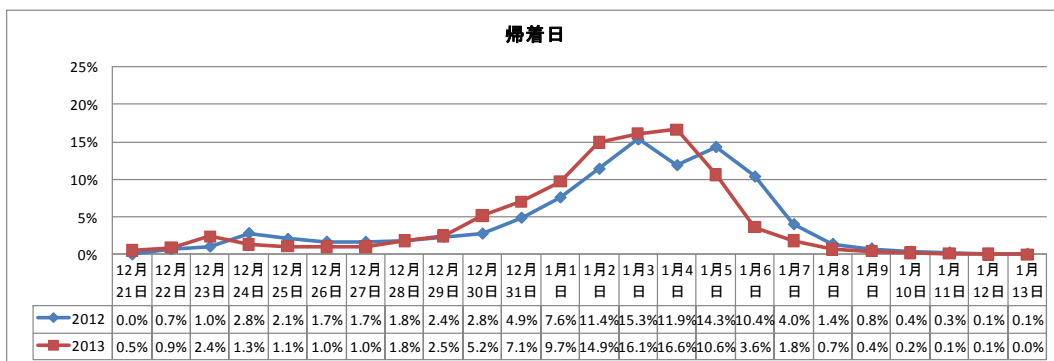
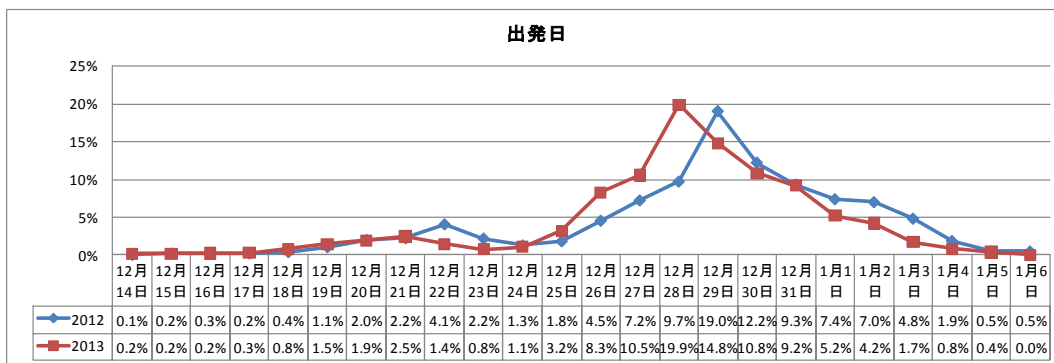
■データ6： 年末年始ツアー問合せシェア_日数別(2012~2013年比較)



■データ7： 年末年始ツアー問合せ_平均日数(2012~2013年比較)

年	2012	2013
平均日数	5.7	5.8

■データ8： 年末年始ツアー問合せシェア_希望出発日・帰国日(日にち別)_前年との比較



<総評・解説>

最大9連休と、日並びが良いため、今年の年末年始海外ツアーは活況。

予約行動も前年に比べて早まる傾向に。

出国は12月26日から徐々に始まり、ピークは28日(土)に。

この冬のカレンダーは12月28日が土曜日、1月3日が金曜日で、最大9連休となることから、海外旅行のツアー問い合わせも昨年と比べて好調であった。混み合うことを予測してか、問い合わせの時期も昨年より早まる傾向にあった。日並びの影響で日数も長期化。前年比円安の為替市況や、12月発券分からの燃油サーチャージの一部値上がりなどによる海外旅行マインドの低下が心配されたが、アベノミクス経済効果とみられる景況感に日並びの良さが後押しして、アジアも含め、ヨーロッパやアフリカ、オーストラリアなど比較的遠方のデスティネーションも伸びている。

細かく旅行先を見ると、相変わらずシェアトップはハワイのオアフ島だが、グアムを含め例年定番人気のこれらのエリアに対し、長期化の影響か、遠距離を含め他のデスティネーションが迫る勢いを見せている。また、LCCの増便で2013年通して人気急上昇している台北は年末年始も根強い人気を見せた。昨今、韓国をしのぐ勢いで人気急上昇中のバンコクなどは、比較的ラグジュアリーなホテルに滞在型のプランに支持が高く、ここ数年で定番人気のアジアの行き先としての存在感を増している。

出国は26日あたりから始まり、ピークは12月28日(土)。年末は全国の空港が例年以上の賑わいを見せそうだ。最大9連休の長期休暇が可能な方は、このピークを避けて、お正月を日本で迎えた後の1月1日または2日出発もまだまだ狙い目だ。